

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字の読み書きや、資料に書かれている事柄を読み取り解答することができるなど、基本的な読み書きの力が身に付いている。 ●複数の条件設定がある場合、情報を整理して自分の考えを文章に表すことに課題がある。	・資料や問題文などの文章を読んだ上で複数の情報を整理できるようになるために、読書の時間を確保したり、言葉の意味を正しく捉えているか国語辞典の使用を促したり、授業の振り返りを書く際に条件を設定したりする。
算数	○問題の条件に合う項目を選択することができるなど、表とグラフから情報を読み取る基本的な力が身に付いている。 ●2つの物の量を比べる際に、もとにする量の何倍かを捉えることに課題がある。 ●図形の向きや見た目に惑わされず、辺の関係(平行)に着目して図形を弁別することに課題がある。	・「1割増」や「30パーセントオフ」など日常生活でよく目にする事柄と既習事項を結び付けて量感の素地を養う。 ・色板やブロックなどの具体物を操作する時間を取り、図形の感覚の素地を養ったり、辺の長さや関係(平行)及び角度に視点をあてて定義を確認したりする。
理科	○それぞれの領域の基礎的な知識は身に付いている。 ●電気を通す物や磁石にひきつけられる物の物質名が混同しており課題である。 ●実験や学習したことをもとに新しい課題を自ら作り出すことや、文章にまとめることに課題がある。	・前学年での既習事項と関連付けた発問をするなど、既習事項や知識の定着を図る。 ・実験や活動の前に「問題作り」をする機会を設定する。

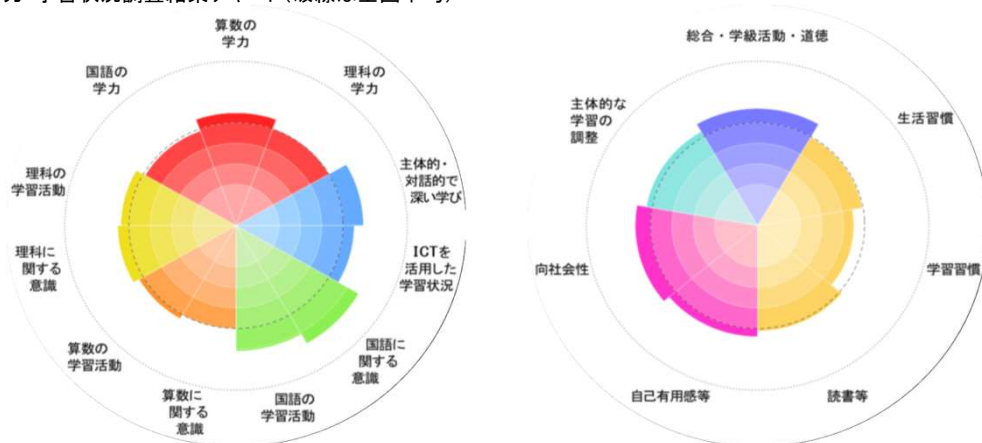
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○前向きに進んでいこうとする学級の風土があり、「人の役に立ちたい」や「授業では課題の解決に向けて自分から取り組む」などの項目で100パーセントの回答がある。 ●「読書が好き」や「家庭学習の時間が1時間ある」については、肯定的回答が少ない。	・学校図書館での本の借り換えの時間を設定したり、ブックトークの機会を設けたりするなど、読書に親しむ場の設定をする。 ・自主学習ノートに積極的に取り組んでいる児童を紹介し、互いの取組が分かるようにするとともに、家庭学習1時間を目指す声がけをする。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	読書の時間を確保すること・国語科を中心に言葉の意味や文章中の表現について子どもたち自身の言葉で確認したりすること等を通して、情報を整理したり語彙を広げたりすることを目指す。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

21

名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

